

就職へ向け理解深める

土浦工高 進路セミナーに116社

就職を希望する3年生を
対象にした県立土浦工業高
(土浦市真鍋)の進路セミ
ナーが26日、つくば市竹園
た。新型コロナウイルスの

コロナで景気が落ち込む
中でも昨年の内定率は10
0%。この日は県内外の大
手から中小まで企業が一堂
に会した。生徒は、感染対
策を施した企業のブース
を各20分、4回まで回り、
採用担当者から仕事や福利
厚生について説明を受け
た。

きたいので頑張りたい」と
話した。
セミナーでは初めて保護
者も参加し、企業の説明を
受けた。進路指導主事の清
浦昌之教諭は「就職後のミ
スマッチが生まれないよう
に保護者にも参加してもら
った。生徒が活躍できる職
場を見つける後押しをでき
れば」と強調した。

(綿引正雄)



感染拡大で面接
のオンライン化
やインターシ
ップの減少など
就職活動が影響
を受ける中、生
徒は就職へ向け
た理解を深め
た。

同校は工業系
の即戦力として
期待され、新型

進路セミナーで
企業担当者の説
明を聞く生徒た
ち。つくば市竹
園

河野碧さん(17)は「いろ
んな企業に話を聞けて将来
の選択肢が広がった。コミ
ュニケーション能力を高め
ていければ」、大江愛華さ
ん(17)も「いい経験になっ
た。事務や接客の仕事に就